

とちぎフレッシュメイト（12代目）知事表敬訪問

6月14日（金）、とちぎフレッシュメイト（12代目）が、栃木県庁福田知事と佐藤副知事を訪問し、「栃木県産農産物を一人でも多くの方々に知ってもらうために頑張ります。」と今後の意気込みを伝えた。また、福田知事からは「皆さんの笑顔で栃木県農畜産物をたくさんの人に食べてもらえるように頑張してほしい。」と激励を受けた。



ぶどうシャインマスカット販促活動

6月8日（土）、東京ソラマチ「とちまるショップ」にてぶどうシャインマスカットの試食販売を実施した。当日は巨峰との食べ比べや、小パックでの試食を行ない、消費者からは食味について高い評価を得た。

シャインマスカットについては、消費者への認知度がまだ高くないことから、今後のより一層のPR活動を行っていくことが必要である。



岩舟町産ぶどう輸出再開に先立ち出発式を開催



6月17日（月）、ほぼ3年ぶりにシンガポール向け輸出が再開されることとなった岩舟町産ぶどうの出発式が行われた。会場となったJAしもつけ岩舟地区青果物一元集出荷所では、生産者代表、町長、JA組合長など関係者が輸出再開を祝った。巨峰とシャインマスカット2品種合わせて約百数十キロが船便で輸出され、6月末にはシンガポールに到着し現地日系スーパーにおいて販売される。好評であれば輸出が継続される予定である。

「県民の日」とちぎの農産物元気アピールキャンペーン

6月15日（土）、県庁にて県民の日記念イベントが開催された。当協会では「とちぎの農産物元気アピールキャンペーン」を実施し、県産農産物の放射性物質モニタリング検査の結果等を通じて安全安心な農産物を提供していることのPRやモニタリング検査のクイズを行い、県内一般消費者の信頼の確保や県産農産物のイメージアップを図った。



第2回「食べて元気だ！栃木産 農畜産物商談会2013」

6月19日（水）、ホテル東日本宇都宮でJA全農とちぎ主催、栃木県・（一社）とちぎ農産物マーケティング協会後援の「第2回食べて元気だ！栃木産 農畜産物商談会2013」が開催された。

当日は県内の企業・団体等が出展し、魅力ある県産農産物や加工食品などを紹介するとともに、実需者との商談による販路拡大を図った。開催当日は、協会・県も出展し、栃木の安全・安心な農産物の紹介・取組や地域ブランド農産物のPR等を実施した。



◆ 花き部会全体会議

6月7日(金)、宇都宮市で花き部会全体会議を開いた。花き部会には9組織が加入しており、各研究会・生産組合の活動強化をするとともに横の連携強化につとめる。また行政や関係団体と連携し、研修会を通じて技術・品質の向上を図っていくとともに、イベント等で積極的に需要拡大を図る決意を新たにした。



◆ 果樹部会全体会議

6月12日(水)、宇都宮市内にて果樹部会全体会議を開催した。本年の主な事業については、ナシの凍霜害の状況を踏まえ、防霜ファンの設置効果の検証および次期作に向けた総合技術対策について、若手セミナーで研修することを申し合わせた。また、ナシのジョイント仕立て栽培技術の導入およびぶどうシャインマスカットの普及推進についても取り組むことを確認した。

◆ 特産部会

6月27日(木)、宇都宮市で特産部会全体会議を開いた。

特産物(こんにやく・かんぴょう)の担い手不足や作付面積の減少等諸問題に立ち向かい、伝統食品としての特産作物の生産振興・消費拡大につとめていくことを確認した。



◆ 第22回通常総会

6月28日(金)JA会館で、第22回通常総会を開催した。会員約50名が出席し、平成24年度の事業報告、収支決算などが承認された。

総会終了後に、平成25年度とちぎフレッシュメイトの紹介を行った。



今後の予定

- 7月10日(水) とちぎ食のコンシェルジュゆうがお・かんぴょう料理研修会(那須塩原市)
- 7月18日(木)~19日(土) 第61回全国ナシ研究大会(鳥取県)
- 7月20日(土)~21日(日) 第14回JAグループ栃木 パワフルアグリフェア(宇都宮市)
- 7月27日(土)~28日(日) とちぎ花センター(岩舟町)
- 7月29日(月)~30日(火) 全国野菜研究茨城県大会(茨城県)



一般社団法人 とちぎ農産物マーケティング協会(平成25年7月発送)

TEL 028-626-2150 FAX 028-643-7853

<http://www.tochigipower.com/>